

平成 24 年 3 月 14 日

各 位

| | |
|------|-------------------------------------|
| 会社名 | 国際石油開発帝石株式会社 |
| 代表者名 | 代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部) |
| 問合せ先 | 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久 |
| 電話番号 | 03-5572-0233 |

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト
生産ライセンスの取得について

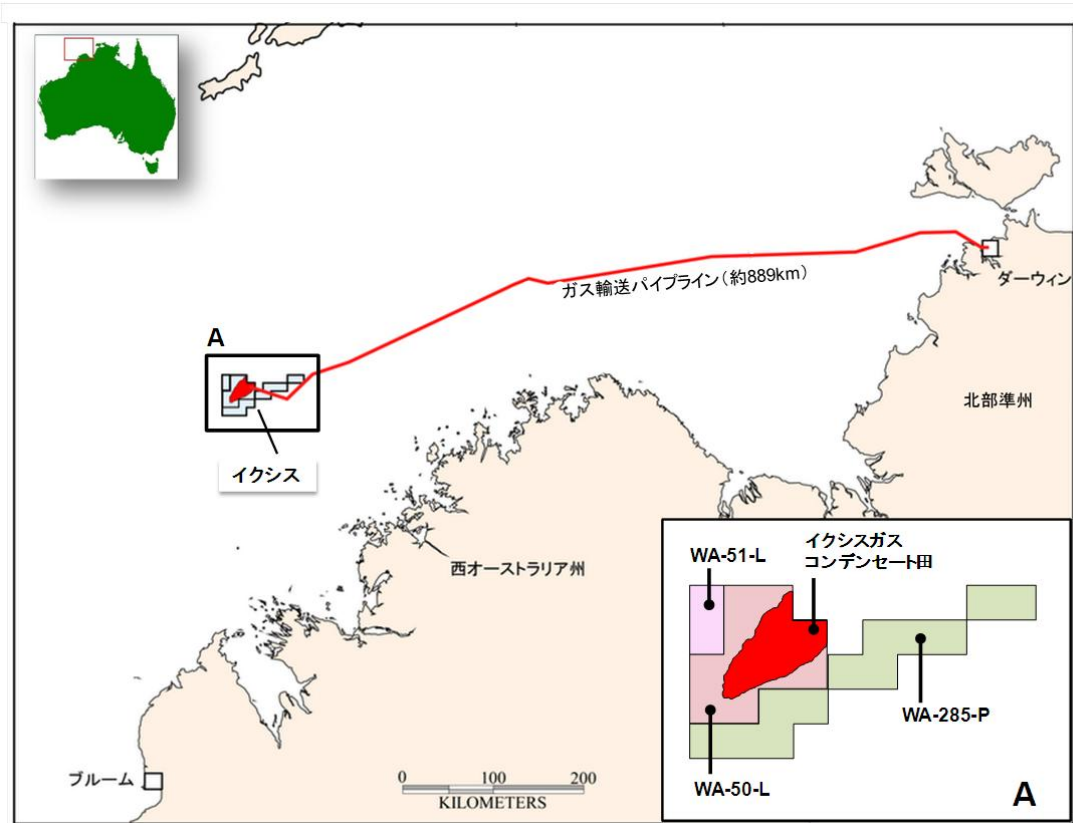
国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のINPEX Ichthys Pty Ltd社など豪州グループ会社を通じてTOTAL E&P Ichthys社とともに開発作業を進めているイクシスLNGプロジェクト（以下、本プロジェクト）に関し、このたび、オーストラリア政府当局よりイクシスガス・コンデンセート田開発に必要な政府許認可の一つである生産ライセンスを取得しましたので、お知らせいたします。本ライセンスの取得により、環境許認可やパイプライン敷設に関する許認可など本プロジェクトの実施に必要とされる主要な許認可の全てを得たこととなります。

本プロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）を務める大型LNG（液化天然ガス）開発プロジェクトであり、西豪州沖合WA-50-LおよびWA-51-L鉱区(*)に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設する陸上プラントにて液化し、年間840万トンのLNGおよび年間約160万トンの液化石油ガス（LPG）として生産・出荷するとともに、洋上貯油・出荷施設（FPSO：Floating Production, Storage and Offloading）等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷するプロジェクトです。本年1月に開発の最終投資決定を行い、現在は、2016年12月末までの生産開始に向け、陸上LNGプラントの建設、沖合生産・処理施設や洋上貯油・出荷施設の建造、ガス輸送パイプラインの建設などの主要なEPC契約（Engineering, Procurement and Construction、詳細設計・資材調達・建設）の締結等、本格的な開発作業に順次着手しております。

(*) 生産ライセンスの取得により、イクシスガス・コンデンセート田が位置する本プロジェクト鉱区の登録がWA-50-L（旧WA-37-R）およびWA-51-L（WA-285-Pの一部）に変更となります。

当社は、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、本プロジェクトを遂行してまいります。

以 上



イクシス LNG プロジェクトロケーション